

## 2019 年度日本天文学会天文教育普及賞の表彰について

2020 年 12 月 16 日

新型コロナ禍のため延期されていた第二回天文教育普及賞の表彰が以下のように行われました。なお、授賞理由は以下のホームページの資料の p.9 および p.10 に掲載されています。

[https://www.asj.or.jp/jp/news/item/20200218\\_02.pdf](https://www.asj.or.jp/jp/news/item/20200218_02.pdf)

【受賞団体】 学校法人 駿台学園 駿台学園中学校・高等学校

【活動名】 駿台天文講座を中心とした長期にわたる天文学の教育普及

梅村雅之会長が土居守天文教育普及賞選考委員長と共に、10 月 19 日に駿台学園を訪問、瀬尾兼秀理事長・校長に、表彰状授与および副賞盾の贈呈を行いました。表彰後の懇談には、駿台天文講座を担当する中島浩一一橋大学名誉教授と駿台天文台の篠原信雄氏も加わり、長期にわたる駿台天文講座の歴史や、駿台学園と天文学者の深い関わりについての懇談が行われました。



瀬尾兼秀駿台学園理事長と梅村雅之日本天文学会会長

【受賞者】 藤井 旭氏

【活動名】 天文台創設・著作・天文行事主導等、多岐にわたる天文学の教育普及

新型コロナ禍で首都圏から藤井氏宅への訪問は難しいということで、賞状・副賞盾をお送りし、梅村雅之会長が10月22日に電話をかけてお祝いをいたしました。梅村会長からは、お祝いの言葉に続けて、高校生の時に藤井さんの「星空の四季」を購入、望遠鏡で天体写真を撮ったことが天文学を始めるきっかけだったとのエピソードの紹介等がありました。藤井氏からは授賞のお礼の言葉があり、近隣では新型コロナは遅れて流行り始めているようだが、山は熊くらいで人はいないので新型コロナの感染の心配がなく、今でも徹夜で写真を撮りに行かれることもあるとのことでした。



藤井旭氏（右）とお祝いの電話をかける梅村雅之会長